─ 飲食店とお客様を結びつけるために作られたトークン



BLACK DIA COIN

**◇ About**

BLACK DIA COIN（以下BDA）とは2018年5月9日、飲食店とお客様を結びつけるために作られたERC223規格のイーサリアムトークンです。

BDAは、上場がゴールではありません。取引所も複数上場を目標とします。また、複数店舗でBDAを可能にすることを目標にしております。さらに、BDA決済可能な飲食店を新規立ち上げも予定しております。

開業３年目以内の飲食店の多くが営業不振にて閉店してしまう厳しい業界ですが、そんな業界をサポートすべく、BDAは存在します。

BDAは、全国の飲食店の救世主となるべく、動いていきます。

**◇ 存在意義**

馴染みのバー、初めて訪れた土地でのレストラン、時には大切な人との食事の場所、気軽に行けるラーメン屋。飲食店は、数えきれないほど存在しており、我々の生活の中では、なくてはならないものとなっています。

そこでの支払いは、出来るのであればスマートに行いたいというものです。

そんな時に、スマートフォン一つあれば、さっと支払いを終えることができます。また、横に座った人に一杯奢る。このようなことを簡単に可能とします。これは、店側の決済を挟まずとも奢ることができます。

BDAは現状の電子マネーの先を行く、新たな仮想通貨払いを可能にします。

**◇ 仮想通貨を店舗で使うメリット**

BDAでは、店舗で使う仕組みを提供します。その仕組みを利用することにより、通常で決済システムを導入するよりも、はるかに簡単に実現することを可能とします。

それは、店舗側・お客様の両者にとってメリットを生み出すことができます。

**１．店舗側のメリット**

BDAでは、Webの仕組みを入れることにより、簡単に決済の仕組みを店舗に取り入れることができます。そのため、店舗側の負担も低く、低コストで決済の仕組みの導入を実現することができます。また、電子マネーは店側に手数料がある程度かかる仕組みになっていますが、仮想通貨にすることにより電子マネーの手数料より減らすことができることでしょう。

**２．お客様側のメリット**

お客様は、スマートフォンの操作のみで簡単

に支払いができるような仕組みを提供します。

その仕組みを使うことにより、割引を可能と

したり、イベントに簡単に参加できるように

なります。また、どこにいてもBDAを購入

することができるので、ATMで入金したり

する必要はありません。

**３．店舗・お客様共通のメリット**

ブロックチェーン技術を使うことにより、確実に使用（送金）されたことが誰でも使用履歴から確認することが可能です。もちろん、暗号化をされているため、高いセキュリティを保つことで安心して使用することができます。

**◇ 仮想通貨だからできること**

仮想通貨は、今後我々の生活に、さらに身近な存在になっていくことが想像できます。

既に複数の店舗で仮想通貨を使用して支払いを済ますことができます。

仮想通貨は、電子マネーとは違い、いつでも

市場が開かれております。

そのため、一度飲食店で使用するために購入

したものの、使わなかった場合は換金するこ

とができます。

これは今までの電子マネーにはない観点となります。（特殊な例を除く）。

また、仮想通貨の取引は時間を選びません。24時間365日取引が可能です。

BDAの購入は、ご自身の都合の良い時間で取引することができます。

**◇ BDAでできること**

**１．Drinks (are) On Me機能 = DOM機能**

BDAの提供する仕組みを使うと、隣の人に一杯奢る、

ということが簡単にできます。バーなどでは、たまたま

居合わせた人と意気投合、ということもよくあります。

その際に、一杯奢るよ、と簡単に奢れると良いですよね。

そのような機能をBDAでは提供することができます。

1. 直感的な操作で簡単におごることが出来る



1. 一杯分のＢＤＡが送金される



1. 履歴が保存され、いつでも見やすい形で閲覧できる



Drinks (are) On Me機能 = DOM機能というBDAプロジェクトが提供する機能を使うことにより、このようなことを行うことができます。

図にある通りBDAを使用すると、「奢った履歴」を確認することができます。酔っぱらってしまって昨日奢った気がするな・・・というような時でも、後から確認することもできますね。

奢ってもらったBDAは、自分のウォレットに保有されます。それを奢ってもらった方に次に会った時に奢り返すのもよし、別の人に奢るのも良いでしょう。



奢ることの連鎖で、BDAの循環サイクルができます。これは、仮想通貨として大事な流動性の確保をすることができます。

さらに、大勢参加する飲み会のような時は、割り勘で支払いたいと思うのは自然でしょう。

DOM機能を使えば、割り勘で支払うことも簡単に行うことができます。

**２．ストアポイント機能**

BDAでは、お店で使えば使うほどお得な特典を提供します。BDAで支払をすると、ポイントが貯まる仕組みを提供します。この仕組みを提供することにより、店舗側はリピーターを増やすことができ、お客様側は無料でお酒を飲んだり、それを別の通貨に換えることもできます。

コンビニでは、ポイントカードの提出を毎回求められて飽き飽きしているかもしれません。

しかし、この機能は普通に決済をするだけで、勝手にポイントをためることが可能です。

「ポイントカード作りますか？」「いや、けっこうです」

という無駄な会話は不要です。

**３．割引機能**

いつから日本ではこんなにイベントが多くなったのでしょう？ハロウィンやクリスマス、バレンタイン、夏祭り、ハッピーアワー等々。そんな時には、店舗側でもつい割引をするような企画を立てたいものです。BDAが提供する仕組みでは、

簡単に割引できるような機能を実装します。

BDAを使用する際には割引をする、という

ようにすることも容易です。

イベント時など、割引をすることで、より盛

り上げることが出来るようになるでしょう。

浴衣やコスプレをしてくると割引、というよ

うなことも、イベントを彩る一部となるでしょう。

**４．専用ウォレットの提供**

BDAでは、専用のウォレットの開発も予定しております。ウォレットは、端末機種がAndroidであれiPhoneであれ、使用することが可能です。ウォレットの機能は最初はシンプルなものですが、徐々にバージョンアップする予定でいます。

**（１）初期リリース対応**

決済額と、送信先が一体となった**QRコード**を

店側が発行します。それを読み込むことにより、

BDAを送付することができます。また、BDA

のウォレットとして、高いセキュリティを提供

します。もしもあなたが酔っ払って寝てしまっ

ても、決して盗まれることはありません。

**（２）バージョンアップ対応**

以下のような機能を有するウォレットを目指します。

・2段階認証の設定

・位置情報から近くにいる人を読み取り、近くにいる特定の相手に一杯おごる

ことや、チャットが可能となる。（DOM機能）

・電子マネーのように、かざすだけで決済が可能となる。

・BDA以外の仮想通貨を格納可能とする。

完全なセキュリティを有し、かつ情報連携のツールともなりえるウォレットと言えるでしょう。

**５．使用店舗の採用・拡大**

BDAで使用できる店舗を現在選定しているところです。まずは既存店舗で使用できるようにします。また、新規で飲食店を立ち上げる予定でいます。仮想通貨を身近なものにするべく、BDAは活動を行っていきます。

**◇ BDA保有割合**

**開発費 30%**

独自アプリケーションの開発、

決済システム研究・開発費として利用します。

**上場時売却分 45%**

最初の上場時に20％を売却します。

残りは、新たな取引所へ上場する為の資金と

して必要に応じて順次売却します。

**マーケティング費 15%**

Air Drop、公式Twitter、Discord、

その他宣伝を含む配布分に利用します。

**運営チーム 10%**

協力者、開発チームに利用します。



**SPEC**

Ethreum トークン



(ERC223)

名称　　　　：BDA (BLACK DIA COIN)

枚数　　　　：400億枚

コントラクト：0xF6CaA4bebD8Fab8489bC4708344d9634315c4340

桁数　　　　：8

**◇ プロジェクト体制**



**１．運営**

代 表：Furuta Kazuya

他：６名

**２．会社概要**

会社名　合同会社

所在地　石川県金沢市新保本2丁目30

代表者　古田 和也

設立日　２０１８年 ８月２１日

資本金　５００００円

事業内容

1. 投資及びコンサルティング業務
2. 通信販売業務並びに情報提供サービス業務
3. 情報通信並びにインターネット関連事業への投資並びに

これらの企業の合併、提携権、有価証券の譲渡に関する

コンサルティング、仲介、斡旋に関する業務

1. 飲食、喫茶店の経営
2. 前各号に付帯関連する一切の業務

＜反社会的勢力について＞

BDAのプロジェクトチームは、反社会的勢力とは一切関与しておりません。

また、仮想通貨ではまだ法整備はされておりませんが、パンプ行為についても、

一切関与しておりません。

プロジェクトチーム全員が、そのようなDiscordに属していないことも確認を

しております。そのために、店舗決済していただく際のパートナーシップを結

ぶ際に、そのような心配をしていただくことは不要です。

**◇ ロードマップ**

─ 全国の飲食店の救世主となるべく、動いていきます

BLACK DIA COIN TEAM

